

第30期 第1回北九州市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年12月11日(月) 15時30分～17時00分
- 2 開催場所 小倉北区役所庁舎8階 811・812会議室
- 3 議題等 (1)議題  
① 会長・副会長の選出について  
② 審議会開催予定について  
③ 専門調査委員の選出について  
④ 令和4年度主要事業の報告について  
(2)報告  
① 北九州マラソン2024について  
② 国際スポーツ大会等の誘致活動状況等について
- 4 出席者 委員14名、事務局(北九州市)11名 計25名

【審議会委員】 石川 一仁(福岡県高等学校体育連盟副会長)  
磯貝 浩久(九州産業大学教授)  
梶山 幹子(北九州市小学校体育連盟)  
倉崎 信子(九州栄養福祉大学教授)  
酒井 孝子(福岡県女子体育連盟理事長)  
塩川 久美(北九州市中学校体育連盟)  
調 弘誓(NHK 北九州放送局長)  
長戸 操(門鉄広告社代表取締役社長)  
中山 育美(福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会理事)  
久澄 喜裕(公益財団法人北九州市スポーツ協会事務局長)  
平野 月子(NPO法人北九州市レクリエーション協会理事)  
船津 京太郎(九州共立大学教授)  
眞鍋 厚毅(北九州市障害者スポーツ協会事務局長)  
山本 浩二(北九州市立大学准教授)  
※五十音順

【事務局】 井上 保之(市民文化スポーツ局長)  
日々谷 健司(市民文化スポーツ局スポーツ部長)  
大江 晃(市民文化スポーツ局スポーツ振興課長)  
川合 浩治(市民文化スポーツ局スポーツ施設担当課長)

濱田 孝洋(市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室長)  
山根 英明(市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室次長)  
遠近 泰史(市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室マラソン担当課  
長)

ほか4名

## 5 会議経過(発言内容)

### (1)議題

#### ① 会長・副会長の選出について

磯貝委員が会長に推薦され、異議なく承認された。

酒井委員、船津委員が副会長に推薦され、異議なく承認された。

#### ② 審議会開催予定について

事務局より説明を行い、委員からの質問・意見は無かった。

#### ③ 専門調査委員の選出について

事務局より説明を行い、原案どおり承認された。

#### ④ 令和4年度主要事業の報告について

事務局より説明を行い、下記のとおり質疑応答があった。

委員A:高齢者の介護予防のための健康遊具は、どのような遊具を置いていて、高齢者が使用するときには指導者などが付いているのか。高齢者が一人で遊具を使って、もしも事故があったら危ないと思うので、定期的に遊具の使い方の講座のようなものができたら良いと思う。

委員B:市内の公園に設置されている健康遊具には、使い方が掲示されていた。

事務局:健康遊具については、腹筋や伸びができるようなものを建設局が整備することに加え、保健福祉局が地域で公園内の健康遊具を活用した健康づくり教室を開催しており、昨年度は9団体で155人が受講した。

また、保健福祉局では、健康遊具を地域でより多くの市民に知っていただくとともに活用を図り、そのうえでさらに地域の介護予防を進める「普及員」の養成に力を入れており、令和4年度末時点で、224人を養成している。

### (2)報告

#### ① 北九州マラソン2024について

事務局より、概要について説明を行い、委員からの質問・意見は無かった。

#### ② 国際スポーツ大会等の誘致活動状況等について

事務局より報告を行い、下記のとおり質疑応答があった。

委員A:パラ卓球の活動拠点のエリアスであるが、人数が増えた際の場所や用具の確保は問題ないか。

事務局:まだ若干の余裕があるかと思われる。卓球台を購入するなど、用具については、今回のプロジェクトの主催者の方で準備してくれている。

委員A:オランダからの来訪者(リタ・ファン・ドリエル氏)は、どのような競技をされているのか。

事務局:ボッチャなどの様々な競技をしている。パラスポーツ全体について、障害者のスポーツ参画、共生社会の実現、ボランティアなどに関する協議をした。

6 その他 傍聴者なし

7 問い合わせ先 市民文化スポーツ局スポーツ部スポーツ振興課 企画係  
電話番号 093-582-2395